

2018年10月19日

## 株式会社モルテンとの共同開発 「molten B+」バスケットゴールの開発

セノー株式会社（本社：千葉県松戸市／代表取締役社長：尾崎徹也）は、株式会社モルテン（本社：広島市西区／代表取締役社長：民秋清史）と「molten B+（モルテン・ビープラス）ゲームユニットで使用されるバスケットゴールの共同開発を行いました。

株式会社モルテンの「molten B+」は、『バスケがあふれる風景』を創りたい。そのためにバスケに新たなものを”+”して、『強化』と『普及』の2つの視点でバスケの発展を目指していくというコンセプトです。その第一弾としてゲームユニットの販売・レンタルを始めます。このユニットに含まれるゴールの開発にセノーが採用されました。

セノーが共同開発企業として選定された最大の要因は、国内唯一のバスケットゴール器具国際認定メーカー、かつ多くの国際大会での採用や、プロスポーツ、学校スポーツへのバスケットゴールの納入実績があることが、株式会社モルテンが求める『安全性・運搬性』の基準を満たすと認められたためです。

今回のバスケットゴールの特長は、プラスチック板、方杖の取り外しが容易となった点です。蝶ボルトを採用することで、工具を使わなくても取り外しが可能となり、プラスチック板を外して運べるため、運搬性がアップするとともに簡便な組立設営を可能にしました。また、これまでのセノーのゴールと同等のサイズで初めてプレッシャーリリースリングが採用されています。

セノーは、これまでも器具の提供で屋内、屋外（3×3）バスケットボールの普及に努めてきましたが、今回「molten B+」にゴールの共同開発というかたちで参入することで、より一層バスケットボールの普及・強化のお手伝いができると思います。これからも様々なニーズに対応し、日本ブランドの誇りを持って、確かな品質と技術力で器具を提供すると共に、健康づくりとスポーツ活動への一助となるよう普及拡大に努め、その発展に貢献していきます。

■バスケットゴール（セノー製品採用）



- ・ 取り外しが容易なプラスチック板と方杖により、コンパクトにすることで運搬性がアップ
- ・ 簡便な設営および組立が可能
- ・ プレッシャーリリースリングの採用
- ・ 規格品をベースに開発を進めることで安全性を確保  
\* イベントなどカジュアルシーンでの使用、シンプルおよびコンパクトなサイズを重視しているため、公式ゲームのレギュレーションは満たしていません。

（報道関係者のお問合せ先）

健康事業推進部 瀬戸口

TEL:047-385-9110